

小田原市内 4 箇所の社寺林 (蓮昌寺・大蓮寺・ 真福寺・大稲荷神社) の真正クモ類

池田 博明・佐藤 伸一・稲葉 茂代

Spiders of Four Groves (of Rensho-ji, Dairen-ji, Shinpuku-ji, and Dainari-jinja)
in Odawara City, Kanagawa Prefecture

Hiroyoshi IKEDA, Shin-ichi SATO and Shigeyo INABA

1. はじめに

神奈川県内各地の真正クモ類目録は大楠山 (植村, 1938), 神武寺 (町田・松下, 1940), 丹沢 (近藤, 1964), 八木沼 (1964) の他, 主に東京蜘蛛談話会会員によって精力的にまとめられている。それらは丹沢山塊 (山川・熊田 1973, 1979, 栗原 1977), 川崎市王禅寺 (新海 1965), 小倉山 (新海 1970), 多摩プラザ (国見 1970), 横浜 (山川 1973), 厚木 (山野・木戸 1975), 三浦半島 (熊田 1980), 日向薬師・広沢寺 (高橋 1981), 津久井・城山 (高橋・松浦 1981), 野庭高校 (谷川ほか 1982), 県立教育センター (池田・谷川 1986), 平塚市 (平塚クモの会 1986), 高麗山 (池田 1986) など各地にわたるが, 丹沢をのぞくと神奈川県西部の記録は少く, 芦の湖・新島・真鶴 (Matsumoto 1970), 真鶴岬 (権田 1972), 箱根畑宿 (小林ほか 1975), 小田原市 (佐久間 1976), 小田原城内高校 (田淵ほか 1982, 池田ほか 1983) があるにすぎない。

神奈川県をフィールドにしたクモの生態記録も多数報告されているが, 酒匂川以西では前述の他, キノボリタテグモ (高橋・鈴木 1980; 小田原市), ムラクモヒシガタグモ (池田ほか 1982~1984; 真鶴), スズミグモ (浜口 1985; 山北と曾我山), ヤバネウラシマグモ (稲葉 1986; 小田原市), ヒメハナグモ (新海 1986; 仙石原) などである。

小田原城内高校生物研究部では, 県西のクモの生態調査を目的とし, 小田原市内 4 箇所の社寺林 (蓮昌寺・大蓮寺・真福寺・大稲荷神社) を 1984 年から平日の放課後を利用して調べてきた。まだ不十分ではあるがその結果をまとめておく。

2. 調査の概要

4 箇所の社寺および城内高校の位置を地図上に示した。真福寺は小田原市早川にあり, 裏手はミカン山につづく常緑落葉混交林を持つ。それに対して蓮昌寺および大蓮寺は市街地の寺で, 敷地内には生垣 (アオキやイブキ) と数本の樹 (クス, マツなど) が植えられている。大稲荷神社は小田原駅付近にあり, 境内にはカシ, クス, スギ, イチョウなど, かなりの樹が植えられている。

各社寺の採集日時・採集者を記す。なお目録中には採集地は蓮, 大, 真, 稲の略号 (それぞれ蓮昌寺, 大蓮寺, 真福寺, 大稲荷神社の略) で示し, 採集月をローマ数字で示した。同月の場合には, 年号の古い方から a, b, c で区別した。たとえば, 稲 X c とあるのは大稲荷神社, 10 月, 1986 年の記録である。

蓮昌寺: 1984 年 6 月 15 日 (佐藤伸一, 稲葉茂代, 植田恭子, 渋谷暁子, 杉崎るり), 1984 年 10 月 3 日 (池田博明, 佐藤, 稲葉, 植田, 沢田典子), 1986 年 10 月 4 日 (池田)。

大蓮寺: 1984 年 6 月 15 日 (池田, 内田真代, 露木孝子, 中村衣里), 1984 年 10 月 3 日 (池田, 佐藤, 稲葉, 植田, 沢田), 1986 年 10 月 4 日 (池田)。

真福寺: 1985 年 1 月 8 日 (池田, 植田, 沢田, 井上美樹), 1985 年 5 月 30 日 (池田, 稲葉, 青野和子, 倉沢景子, 瀬戸典子, 高橋祐子, 結城由起子), 1984 年 6 月 8 日 (池田, 佐藤, 稲葉, 植田, 沢田, 渋谷, 杉崎, 露木), 1984 年 7 月 19 日 (池田, 佐藤, 稲葉, 植田, 沢田, 渋谷, 杉崎, 天野智枝, 及川美和), 1985 年 9 月 27 日 (池田, 植田, 渋谷, 高橋, 青木和代, 山

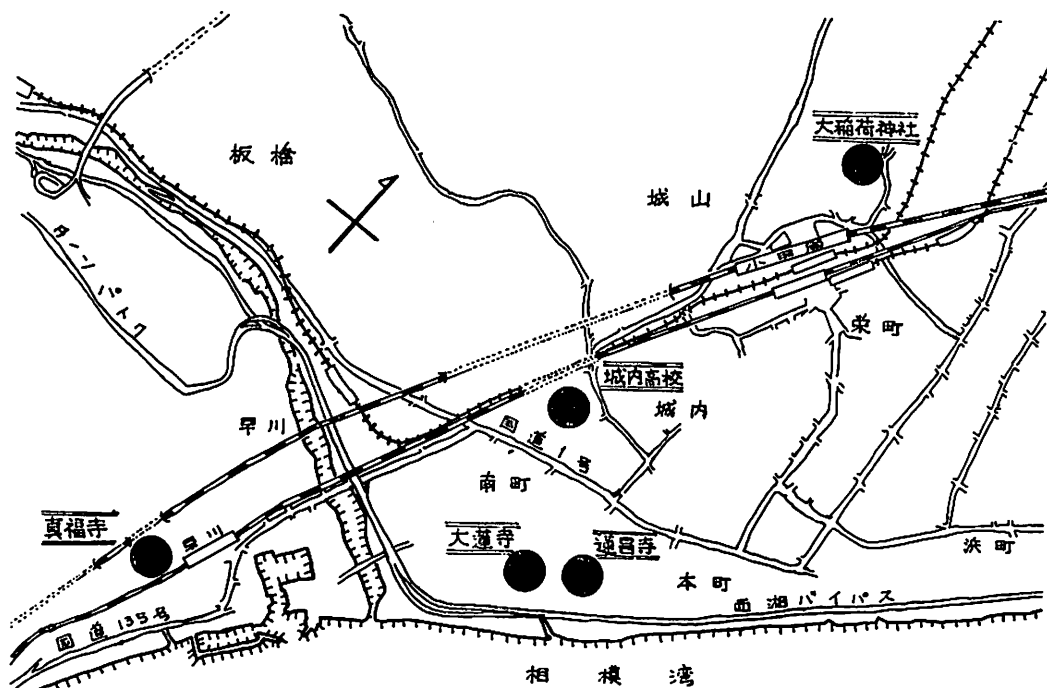


図1 調査地点略図

本由香, 渡辺秀子), 1986年10月4日(池田)。

大稲荷神社: 1985年5月2日(池田, 稲葉, 青野, 倉沢, 瀬戸, 高橋, 結城), 1986年5月8日(池田, 佐藤, 高橋, 久保寺みか, 諏訪なお子, 原田弘美), 1984年6月21日(池田, 佐藤, 稲葉, 植田, 沢田, 渋谷, 杉崎), 1985年6月7日(池田, 倉沢, 瀬戸, 高橋, 結城), 1984年10月4日(池田, 佐藤, 稲葉, 井上, 沢田, 渋谷, 杉崎, 露木, 渡辺, 遠藤明美), 1985年10月8日(池田, 佐藤, 稲葉, 青木, 植田, 倉沢, 渋谷, 高橋, 山本), 1986年10月4日(池田)。

3. 真正クモ類目録

科の配列は新海・高野(1984)により, 科内の属および種の配列は学名のアルファベット順とした。和名および学名は八木沼(1986)に準じた。採集地略号のアルファベットは採集時のクモの令を示す。Fはメス成体, fはメス亜成体, Mはオス成体, mはオス亜成体, nは幼体(nymph), Eは卵のうを表す。※印は城内高校内でも記録されている種である。

同定は, 齊藤博(22, 23, 24), 新海栄一(27), 小野展嗣(59), 加村隆英(90)の諸氏にお願いした他は, 池田が行なった。心よく同定して下さい諸氏に感謝

申しあげる。また, 新海栄一氏には同定, 文献等で常にお世話になっている。記して感謝の意を表したい。

トタテグモ科 CTENIZIDAE

1. キシノウエトタテグモ *Latouchia typica* (KISHIDA) F真V ※
2. キノボリトタテグモ *Ummidia fragaria* (DÖNITZ) n稲Vb

ジグモ科 ATYPIDAE

3. ジグモ *Atypus karschi* DÖNITZ n連Xb・f真V・n真VI ※

ハグモ科 DICTYNIDAE

4. ネコハグモ *Dictyna felis* BÖS. et STR. F真VI・n真VII・f稲VIa

ウズグモ科 ULBORIDAE

5. マネキグモ *Miagrammopes orientalis* BÖS. et STR. n真VII・n真IX ※
6. カタハリウズグモ *Uloborus sybotides* BÖS. et STR. F真V・Fn真VI・F真VII
7. ウズグモ *U. varians* BÖS. et STR. fn真VI

チリグモ科 ORCOBIIDAE

8. チリグモ *Oecobius annulipes* LUCAS F真VI

- ・F稲VIa ※
- タマゴグモ科 OONOPIDAE
9. ナルトミダグモ *Ischnothyreus narutomii* (NAKATSUDI) F蓮VI・M蓮Xb
- ユウレイグモ科 PHOLCIDAE
10. ユウレイグモ *Pholcus crypticolens* Bös. et STR. F真V・FMEn真VI・F真VII・n真I・n真X
11. イエユウレイグモ *Pholcus phalangioides* (FUSSELIN) F真VII
- ヒメグモ科 THERIDIIDAE
12. ヒメグモ *Achaearanea japonica* (Bös. et STR.) FEn蓮Xb・FEn大Xb・fn真VII・Fn真IX・n稲Xb
13. オオヒメグモ *A. tepidariorum* (C. KOCH) n蓮VI・F大Xa・Mn真VI・nE真VII・Fn稲Va・F稲Vb・Fn稲VIa・n稲Xa ※
14. アシプトヒメグモ *Anelosimus crassipes* (BÜS. et STR.) M連VI・n蓮Xa・F大VI・n大Xa・FE真VI・FEn真VII・n真IX・m真X ※
15. カニミジグモ *Diplocephalus mustertinus* (SIMON) Fm真IX
16. シモフリミジグモ *D. punctisparsa* YAGINUMA n稲Xa・n稲Xb ※
17. カレハヒメグモ *Enoplognatha transversifoveata* (Bös. et STR.) F真V・n真I・n真X・n稲I・F稲Vb・n稲Xb ※
18. ツクネグモ *Phoroncidia pilula* (KARSCH) F蓮Xb
19. ハンゲツオスナキグモ *Steatoda cavernicola* (Bös. et STR.) n稲Xa
20. スネグロオチバヒメグモ *Stemmopos nipponicus* YAGINUMA F稲VIa・n稲Xa
21. ムナボシヒメグモ *Theridion sterninotatum* Bös. et STR. n大Xb・FM真VII・Fn稲Va・n稲Xa・F稲Xb・n稲I
- サラグモ科 LINYPHIDAE
22. タテヤマテナグモ *Bathypantes tateyamaensis* (OI) M稲Vb
23. ハラジロムナキグモ *Diplocephaloides saganus* (Bös. et STR.) F真V・FM稲Vb・F稲Xb
24. クロナンキングモ *Erigonidium graminicola* (SUND.) M稲Va
25. ヘリジロサラグモ *Linyphia oideicata* (HELDINGEN) f真VII・f稲Vb・M稲Xa ※
26. チビアカサラグモ *Nematognus sanguinolentus* (WALCK.) MF稲Va ※
27. オオサカアカムネグモ *Ummeliata osakaensis* (OI) F蓮Xa・FM大VI ※
- センショウグモ科 MIMETIDAE
28. センショウグモ *Ero japonica* Bös. et STR. ME真VII・n真I・F稲Xa・n稲Xb ※
- コガネグモ科 ARANEIDAE
29. ムツボシオニグモ *Araniella sp.* F稲Vb ※
30. コガネグモ *Argiope amoena* L. KOCH n蓮VI
31. コガタコガネグモ *A. minnta* KARSCH n真VI ※
32. ゴミグモ *Cyclosa octotuberculata* KARSCH n大Xa・Mf稲Va・n稲Xa ※
33. ギンメッキゴミグモ *C. argenteoalba* Bös. et STR. F真VI・n真VII・F真X・Fn稲Vb・F稲VIa
34. ヤマトカナエグモ *Chorizopes nipponicus* YAGINUMA n稲Xa ※
35. ジョロウグモ *Nephila clavata* L. KOCH n蓮VI・F蓮Xa・FM蓮Xb・n大VI・n真VII・FM真X・n稲VIa・FM稲Xa・FM稲Xc ※
36. サツマノミダマシ *Neoscona scylloides* (Bös. et STR.) n大VI ※
37. ワキグロサツマノミダマシ *N. mellottei* (STRAND) n稲VIa
38. ヤマシロオニグモ *N. scylloides* (KARSCH) f真V・n真VI・稲VIa ※
39. ズグロオニグモ *Yaginomia sia* (STRAND) n大Xa
40. カラフトオニグモ *Zilla sachalinensis* (SAITO) F真VI ※
- アシナガグモ科 TETRAGNATHIDAE
41. シロカネグモ(幼体) *Leucauge sp.* n大Xa・n真VII・n稲Va・n稲VIa ※
42. コシロカネグモ *Leucauge subblanda* Bös. et STR. F真V
43. チュウカタシロカネグモ *L. blanda* (L. KOCH) f真VI ※
44. ヤサガタアシナガグモ *Tetragnatha maxillosa* THORELL n大VI・n真VI・n稲VIa ※
45. ウロコアシナガグモ *T. squamata* KARSCH n大VI・F真V・m稲Va・n稲Xb
- ヒラタグモ科 UROCTEIDAE
46. ヒラタグモ *Uroctea compactilis* L. KOCH Fn

真VI・n真VII・n稻VIa・n稻Xa ※

クサグモ科 AGELENIDAE

47. クサグモ *Agelena limbata* THORELL n大VI・n真V・n真VI ※

48. コクサグモ *A. opulenta* L. KOCH n蓮VI・n大VI・F大Xa・n真V・n真VII・F真X・n稻Va・n稻VIa・n稻Vb ※

49. シモフリヤチグモ *Coelotes insidiosus* L. KOCH F稻VIa ※

50. メガネヤチグモ *C. luctuosus* (L. KOCH) F蓮VI・F真VI ※

キシダグモ科 PISAURIDAE

51. イオウイロハシリグモ *Dolomedes sulfureus* L. KOCH n真V・n真VI ※

52. アズマキシダグモ *Pisaura lama* BÖS. ET STR. F真VI ※

ゴモリグモ科 LYCOSIDAE

53. ヒノマルゴモリグモ *Arctosa japonica* (SIMON) n真VI

54. ゴモリグモの一種 *Lycosa* sp. M真VI

55. ハリゲゴモリグモ *Pardosa laura* (KARSCH)

FM稻VIa

56. カイゾクゴモリグモの一種 *Pirata* sp. m真VI

ササグモ科 OXYOPIDAE

57. ササグモ *Oxyopes sertatus* L. KOCH F大VI・n大Xa・m真V・Fm真VI・F真VII ※

カニグモ科 THOMISIDAE

58. キハダカニグモ *Bassaniana decorata* (KARSCH) M蓮VI・F真VII・M稻VIa・f稻Xb

59. イボカニグモ *Boliscus tuberculatus* (SIMON) M真I

60. ハナグモの一種 *Misumenops* sp. n真VII

61. ワカバグモ *Oxytate striatipes* L. KOCH n真VII・n稻Xa

62. ヤミイロカニグモ *Xysticus croceus* FOX Mn真V・M真VI・M稻VIa ※

63. オオヤミイロカニグモ *X. saganus* BÖS. ET STR. F真VII

64. セマルトラフカニグモ *Tmarus rimosus* PAIK m真VI・n真X・f稻VIa・n稻Xb ※

エビグモ科 PHILODROMIDAE

65. キンイロエビグモ *Philodromus auricomus* L. KOCH n大Xa・n稻Va ※

66. キハダエビグモ *P. spinitarsis* SIMON F蓮VI

・Mm真VI・Fn稻VIa・n稻Xb・n稻Vb

67. アサヒエビグモ *P. subaureolus* BÖS. ET STR. m蓮VI・n蓮Xa・n大Xa・n真V・n真I・n稻Va・F稻VIa・n稻Xc ※

68. シャコグモ *Tibellus tenellus* (L. KOCH) F真VI・n真VII・fm稻Va・n稻VIa・n稻Xb・m稻Vb ※

ハエトリグモ科 SALTICIDAE

69. ネコハエトリ *Carrhotus xanthogramma* (LATREILLE) n大Xa ※

70. マミジロハエトリ *Evarcha albaria* (L. KOCH) n真VI・n真VII ※

71. ヨダンハエトリ *Marpissa pulla* (KARSCH) M真V・M真VI ※

72. シラヒゲハエトリ *Menemerus confusus* BÖS. ET STR. FM蓮VI・F真IX

73. アリグモ *Myrmarachne japonica* (KARSCH) f大VI・m真V・fm真VI・n真I・f稻Va ※

74. カラスハエトリ *Rhene atrata* (KARSCH) F真V・n真I ※

75. デーニッツハエトリ *Plexippoides doenitzi* (KARSCH) Fn蓮VI・F稻Vb ※

76. ミスジハエトリ *Plexippus setipes* KARSCH F蓮VI・F真VII ※

77. メスジロハエトリ *Phintella versicolor* (C. KOCH) n大Xa

78. アオオビハエトリ *Silerella vittata* (KARSCH) F蓮VI・nf真V・F真VI・n真IX ※

79. ムツバハエトリ *Yaginumanis sexdentatus* (YAGINUMA) n真I

フクログモ科 CLUBIONIDAE

80. ヤサコマチグモ *Chiracanthium unicum* BÖS. ET STR. M大VI

81. ヤハズフクログモ *Clubiona jucunda* (KARSCH) n大Xa ※

ウエムラグモ科 LIOCLANIDAE

82. イタチグモ *Itatsina praticola* (BÖS. ET STR) fm真VI・n真IX・m稻Xb

83. オトヒメグモ *Orthobula crucifera* BÖS. ET STR. M蓮Xa ※

84. ウラシマグモ *Phrurolithus nipponicus* KISHIDA n蓮Xa・n大Xb・F稻VIa・FM稻VI・m稻Xa ※

85. ヤバネウラシマグモ *P. pennatus* YAGINUMA n蓮VI・F蓮VI・n大VI・n真V・n真VI・F真VII・稻Vib・F稻VIa・稻Xb ※

86. ウラシマグモの一種 *P. sp.* FM稲VIIb・n稲Xa ※

87. ネコグモ *Trachelas japonica* Bös. et STR. F蓮VI・n蓮Xa・n真I・n稲Xa ※

アシダカグモ科 HETEROPODIDAE

88. アシダカグモ *Heteropoda venatoris* (LINNAEUS) F真VII・n稲Xa・F稲Xc ※

シボグモ科 CTENIDAE

89. シボグモ *Anahita fauna* KARSCH n真IX ※
ワシグモ科 GNAPHOSIDAE

90. ホシジロトンビグモ *Poecilochroa hosiziro* YAGINUMA F蓮VI

41と60は既知種の幼体と思うが、86は新種の可能性がある。

また、小田原城内高校内で記録されている種には、この目録の他に、次の39種がある。

91. ユカタヤマシログモ *Scytodes thoracica* (LATREILLE) ((ヤマシログモ科 SCYTODIDAE)), 92. イトグモ *Loxosceles rufescens* (DUFOUR) ((イトグモ科 LOXOSCELIDAE)), 93. シモングモ *Spermophora senoculata* (DUGÈS) ((ユウレイグモ科)), これら3種は屋内性である。94. キヒメグモ *Achaearanea asiatica* (Bös. et STR.), 95. オナガグモ *Argyrodes cylindrogaster* (SIMON), 96. ヤホシヒメグモ *Coleosoma octomaculatum* (Bös. et STR.), 97. ムラクモヒシガタグモ *Episinus nubilus* YAGINUMA, 98. パラギヒメグモ *Theridion chikunii* YAGINUMA, 99. ハイロヒメグモ *T. subpallens* Bös. et STR., 100. タカユヒメグモ *T. takayense* SAITO, 101. キヨヒメグモ *T. sp.* ((ヒメグモ科)), 102. ムネグロサラグモ *Linyphia nigripectoris* (OI) ((サラグモ科)), 103. ヌサオニグモ *Araneus ejusmodi* Bös. et STR., 104. イシサワオニグモ *A. ishisawai* KISHIDA, 105. コゲチャオニグモ *A. punctigera* (DOLESCHALL), 106. オニグモ *A. ventricosus* L. KOCH, 107. ナガコガネグモ *Argiope bruennichii* (SCOPOLI), 108. チュウガタコガネグモ *A. boesenbergi* LEVI, 109. シロスジショウジョウグモ *Hypsosinga sanguinea* (C. KOCH), 110. ドヨウオニグモ *Neoscona doenitzii* (Bös. et STR.) ((コガネグモ科)), 111. ヨツボシヒメアシナガグモ *Dyschirio gnatha quadrimaculata* Bös. et STR., 112. キララシロカネグモ *Leucauge subgemmea* Bös. et STR., 113. アシナガグモ *Tetragnatha praedonia* L. KOCH, ((アシナガグモ科)), 114. ヤマヤチグモ *Coelotes cora-*

sides (Bös. et STR.), 115. ハタケグモ *Hahnica corticola* Bös. et STR. ((ハタケグモ科 HAHNIIDAE)), 116. ウツキコモリグモ *Pardosa astrigera* L. KOCH, 117. チビコモリグモ *Pirata procurvus* (Bös. et STR.) ((コモリグモ科)), 118. ハナグモ *Misumenops tricuspis* (FABRICIUS), 119. ガザミグモ *Pistius undulatus* KARSCH, 120. アズチグモ *Thomisus la-befactus* KARSCH ((カニグモ科)), 121. イナズマハエトリ *Euophrys undulovittata* Bös. et STR., 122. ヤハズハエトリ *Marpissa elongata* (KARSCH), 123. ヤサアリグモ *Myrmarachne innermichelis* (Bös. et STR.), 124. チャイロアサヒハエトリ *Phintella abnormis* (Bös. et STR.) ((ハエトリグモ科)), 125. カバキコマチグモ *Chiracanthium japonicum* Bös. et STR., 126. トビイロフクログモ *Clubiona lena* Sös. et STR., 127. ムナアカフクログモ *C. vigil* KARSCH ((フクログモ科)), 128. コムラウラシマグモ *Phrurolithus komurai* YAGINUMA ((ウエムラグモ科)), 129. チャクロワシグモ *Drassodes oculinotatus* Bös. et STR. ((ワシグモ科))。

4. 考察とまとめ

寺社ごとの種数をまとめると、蓮昌寺22種、大蓮寺20種、真福寺61種、大稲荷神社46種となる。蓮昌寺と大蓮寺は採集回数も少ないが、寺社林の規模に見合った種数と考えられる。城内高校での記録種数は、91種である。観察期間も長いし、観察回数も多いためである。記録をもとにして、4つのグループを特徴づけた。

(1) どの寺社でも記録された種

ヒメグモ、オオヒメグモ、ジョロウグモ、コクサグモ、アサヒエビグモ、ヤバネウラシマグモ。

これらは平地では普遍的な種である。前4種は造網性、アサヒエビグモは葉上徘徊性、ヤバネウラシマグモは地表および落葉徘徊性である。前4種の造網環境は少しずつ異なっている。ヒメグモの不規則網やコクサグモの棚網は灌木の葉や枝の間、オオヒメグモの不規則網は住居の隅、ジョロウグモの蹄型円網は高木の枝間に張られる。

(2) 真福寺だけで記録された種

カタハリウズグモ、ウズグモ、ユウレイグモ、イエユウレイグモ、カニミジグモ、コシロカネグモ、ヒノマルコモリグモ、イボカニグモ、オオヤミイロカニグモ、ムツバハエトリ。

これらは、うす暗い樹林帯に好んで生息する種とい

えよう。真福寺は調査地の中では、もっとも自然林が残されたところである。ただし、11種のうち、オオヤミロカニグモは幼体のため、他の調査地で記録されていないという可能性がある。

(3) 真福寺と蓮昌寺、または大蓮寺の双方で記録された種

ジグモ、アシプトヒメグモ、ムナボシヒメグモ、ゴミグモ、シロカネグモ幼体、ヤサガタアシナガグモ、ウロコアシナガグモ、クサグモ、メガネヤチグモ、ササグモ、キハダカニグモ、キハダエビグモ、アリグモ、ミスジハエトリ、アオオビハエトリ、ネコグモ。

これらは(1)に準ずる種で、当地区に普遍的に分布していると考えられる。なお、目録中ではゴミグモは真福寺での記録が記されていないが、1986年6月に多数観察している。

(4) 蓮昌寺または大蓮寺だけで記録された種。

ナルトミダニグモ、ツクネグモ、コガネグモ、ズグロオニグモ、メスジロハエトリ、ヤサコマチグモ、ホシジロトンビグモ。

前2種は小型のため、目につきにくいものと思われる。ツクネグモについては、別に真福寺で1頭採集された。他の種についても、市街地に特有というよりも個体数が少ないため、発見されなかったものと考えている。

以上、(1)から(4)までは、4ヶ所の寺社だけでなく、城内高校の記録もあわせて、まとめた。社寺林の規模の大きい方から並べると、真福寺、大稲荷神社、城内高校、蓮昌寺、大蓮寺となる。

5. おわりに

松本(1979)の Locality Code で表せば、城内高校・蓮昌寺・大蓮寺は [C3909-3514]、大稲荷神社は [C3909-3515]、真福寺は [C3908-3514] である。

採集個体も少なく、同定の難しい科、サラグモ科、コモリグモ科、フクログモ科については、生態を十分反映しているものとは考えていない。今後とも継続して調査を行うとともに、近隣の箱根、真鶴、大雄山などの調査も進めていきたい。

最後に採集容器としてフィルム・ケースを提供して下さっている下田維子氏と心よく調査させて下さった各社寺の方々に感謝申しあげる。

文 献

権田重雄 1972 真正蜘蛛各地の同定目録. Kishi-

daia. (29~32): 9-13.

浜口哲一 1985 神奈川県のスズミグモの記録2例. Kishidaia, (53): 26-27.

平塚クモの会 1986 平塚市の真正クモ類 1. リストおよび分布. 自然と文化, (9): 75-102.

池田博明・生物研究部 1982 小田原城内高校内のクモ(下). 小田原城内高校図書館紀要, (5): 73-76.

池田博明・稲葉茂代・小川まゆみ・島津千秋・田村武子・鶴田明子・山口泉 1982 ムラクモヒシガタグモの生態(1). Kishidaia, (49): 22-25.

池田博明・生物研究部 1983 ムラクモヒシガタグモの生態(2). Kishidaia, (50): 1-6.

池田博明・稲葉茂代・小川まゆみ・山口泉・島津千秋・鶴田明子・田村武子 1983 ムラクモヒシガタグモの造網・交接・卵のう製作. *Atypus*, (82): 28-34.

池田博明・生物研究部 1984 ムラクモヒシガタグモの生態(3). Kishidaia, (51): 1-6.

池田博明 1984 ムラクモヒシガタグモの幼生越冬. *Atypus*, (84): 25-26.

池田博明・谷川明男 1986 クモの同定と観察. 神奈川県生物教育研究会会報, (4): 7-10.

池田博明 1986 東京蜘蛛談話会採集観察会報告・高麗山のクモ. Kishidaia, (54): 22-28.

稲葉茂代 1986 ヤバネウラシマグモの習性. *Atypus*, (87): 1-8.

小林久俊・石山鉄幸・権田重雄 1975 箱根宿付近の真正蜘蛛類. Kishidaia, (39): 42-48.

近藤昭夫 1964 丹沢産真正蜘蛛類目録. 丹沢大山学術調査報告書, 神奈川県. 395-397.

熊田憲一 1980 三浦半島の真正蜘蛛類. Kishidaia, (45): 9-27.

国見裕久 1970 神奈川県多摩プラーザのクモ. Kishidaia, (16・17): 3-5.

栗原輝代子 1976 東京蜘蛛談話会観察会報告・丹沢山塊ヒジリ峰のクモ. Kishidaia, (40): 3-6.

町田徳治・松下伝吾 1940 神奈川県神武寺付近産蜘蛛. *Acta arachnol.*, 5 (2): 76-80.

MATSUMOTO, S. 1970 Spiders around Ashinoko lake and of Nijjima, Manazuru peninsula, Kanagawa Prefecture. Kishidaia, (16・17): 1-3.

- 松本誠治 1979 生物の採集地の記号表示 (Locality Code) について. 日本生物地理学会報, (34): 21-27.
- 小田原城内高等学校生物研究部 1985 クモの拍動, ウラシマグモ・ワシグモの飼育, 観察会報告など. Kishidaia, (52): 25-38.
- 佐久間良三 1976 観察日誌. Kishidaia, (40): 22-25.
- 新海 明 1970 神奈川県小倉山付近のクモ. Kishidaia, (14): 1-2.
- 新海栄一 1965 川崎市王禅寺付近のクモ(I). Kishidaia, (6): 1-4.
- 新海栄一・高野伸二 1984 クモ. 東海大学出版会. 東京.
- 新海栄一 1986 板橋区の真正クモ類. 板橋区昆虫等実態調査. 134-148. 東京.
- 田淵誠・生物研究部 1981 小田原城内高校内のクモ(上). 小田原城内高等学校図書館紀要, (4): 45-46.
- 高橋正昭・鈴木喜一郎 1980 キノボリトタテグモの巣について. 小田原高等学校生物部誌, (22): 55-61.
- 高橋 登 1977 東京蜘蛛談話会観察会報告・日向薬師・広沢寺のクモ. Kishidaia, (41): 29-32.
- 高橋 登・松浦祐司 1981 東京蜘蛛談話会観察会報告. 城山(根小屋城跡)のクモ. Kishidaia, (46): 25-31.
- 谷川明男・飯島寿子・上野妙子・森美也子 1982 神奈川県立野庭高等学校周辺の真正クモ類. Kishidaia, (48): 23-29.
- 植村利夫 1938 蜘蛛研究室彙報(2). Acta arachnol., 3(1): 19-30.
- 八木沼健夫 1964 丹沢山塊の真正蜘蛛類. 丹沢大山学術調査報告書. 392-394. 神奈川県.
- 八木沼健夫 1986 原色日本クモ類図鑑. 保育社. 東京.
- 山川 守 1972 丹沢山塊の蜘蛛. Kishidaia, (29~32): 4.
- 山川 守 1973 横浜のクモ. Kishidaia, (36): 1-5.
- 山川 守・熊田憲一 1973 丹沢山塊の真正蜘蛛類. Atypus, (60): 31-54.
- 山川 守・熊田憲一 1979 丹沢山塊の真正蜘蛛類II Atypus, (74): 1-14.
- 山野忠清・木戸敬二 1975 厚木市の水田におけるクモ類とその季節的変動. Atypus, (64): 27-34.

(小田原城内高等学校)